年間授業計画 新様式例

高等学校 令和７年度（1～4学年用） 教科 芸術　　科目 工芸Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 工芸Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1～4 学年 1組～ 6 組

使用教科書：（ 工芸Ⅰ 日本文教出版 116-日文・工Ⅰ-701 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりする。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養う。

科目 工芸Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、心豊かに発想し構想を練ったり、工芸や伝統、文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	和紙工芸（張り子のお面） 【知識及び技能】 和紙工芸作品の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる。手順や技法などを吟味し、創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力】 自然や素材、自己の思いなどから豊かな発想ができる。日本や諸外国の伝統的な表現のよさに触れ、制作の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性】 日本や諸外国の和紙工芸品について親しみを持ち、よさを味わう。	・指導事項 和紙工芸作品制作における素材や道具の使用法、手順や技法 ・内容、使用教材・画材 （適宜、教科書・プリント使用） ①独創的なお面のデザインを考え、油土を盛り上げて成形する。 ②油土の原型に、ちぎった和紙を張り重ね必要な厚みにする。 ③原型を抜き取り下地材を塗った後、絵の具で彩色し仕上げる。 ・一人１台端末の活用 等 日本や諸外国の様々なお面についてインターネットでリサーチし、構想を練る。自分の作品を毎回撮影して記録に残し、工程を振り返ることができるよう整理する。		○	○	【知識及び技能】 ・和紙工芸作品制作のための道具や材料について、その使用法や特徴を理解し、意図に応じて正しく使用できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・日本や諸外国の伝統的な表現のよさに触れ、自然や素材、自己の思いなどから豊かな発想をし、作品の構想を練ることができる。 ・課題に対して、適した技法や制作の進め方を臨機応変に選択し、試行錯誤しながら効率良く制作できる。 【学びに向かう力、人間性】 ・地域、民族、時代によって様々な工芸があることを知り、生活の中で美しいものや使いやすいものをつくること・使うことの楽しさを主体的に味わうことができる。 ・自分だけでなく他人の作品も評価し、その良さを感じ取ることができる。	○	○	○	30
2学期	木工芸（ｶﾄﾗﾘｰ･ﾍﾞｰﾊﾟｰﾅｲﾌ） 【知識及び技能】 木工芸作品の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる。手順や技法などを吟味し、創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力】 天然素材の良さを感じ取り、その生かし方を思考しながら、心豊かな発想ができる。用途と美しさの調和を考え、制作の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性】 美しさと使いやすさを考えながら、作品をよりよくしていこうという態度で主体的な制作ができる。	・指導事項 木工芸作品制作における素材の取り扱い、刃物類の安全な使用法、手順や技法 ・内容、使用教材・画材 （適宜、教科書・プリント使用） ①「用と美」を考え、使いやすくフォルムの美しい道具（スプーン／バターナイフ／ペーパーナイフ）を考え、アイデアスケッチをする。 ②糸鋸や鉄やすりなど工具の使用法を学び、安全に正しく使いこなし切削加工をする。 ③オイルで塗装して仕上げる。 ・一人１台端末の活用 等 自分の作品を毎回撮影して記録に残し、工程を振り返ることができるよう整理する。	○		○	【知識及び技能】 ・木工芸作品制作のための道具や材料について、その使用法や特徴を理解し、意図に応じて正しく使用できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・使いやすさを考慮し、また素材の美しさや特性を生かして目的に応じたデザインを発想・構想できる。 ・課題に対して、適した技法や制作の進め方を臨機応変に選択し、試行錯誤しながら効率良く制作できる。 【学びに向かう力、人間性】 ・生活の中で美しいものや使いやすいものをつくること・使うことの楽しさを主体的に味わうことができる。 ・自分だけでなく他人の作品も評価し、その良さを感じ取ることができる。	○	○	○	30
3学期	型染め（グリーティングカード） 【知識及び技能】 染色工芸作品の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる。手順や技法などを吟味し、創造的に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力】 渡す人・渡される人の願いや心情、環境などから心豊かな発想ができる。人や場などに求められる機能と美しさの調和を考え、制作の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性】 自己や他者の生活や、社会を心豊かにしていこうとする態度で、主体的な制作ができる。	・指導事項 染色工芸作品制作における素材や道具の使用法、手順や技法 ・内容、使用教材・画材 （適宜、教科書・プリント使用） ①型染の特性について理解し、それを生かした図案、版の重ね方を考える。 ②渋紙をデザインカッターや丸錐で丁寧に切り抜く。 ③配色の工夫をしながら、顔料と豆汁で和紙葉書を染めていく。 ・一人１台端末の活用 等 日本や諸外国の様々な文様についてインターネットでリサーチし、構想を練る。自分の作品を毎回撮影して記録に残し、工程を振り返ることができるよう整理する。		○	○	【知識及び技能】 ・染色工芸作品制作のための道具や材料について、その使用法や特徴を理解し、意図に応じて正しく使用できる。 【思考力、判断力、表現力】 ・形や色彩、構成等の造形要素の美しさやバランスを考慮し、また素材の特性を生かして目的に応じたデザインを発想・構想できる。 ・課題に対して、適した技法や制作の進め方を臨機応変に選択し、試行錯誤しながら効率良く制作できる。 【学びに向かう力、人間性】 ・地域、民族、時代によって様々な文様があることを知り、生活の中で自己や他者が美しいものを使うことの楽しさについて主体的に考えることができる。 ・自分だけでなく他人の作品も評価し、その良さを感じ取ることができる。	○	○	○	18 合計 78